ホンジュラス定期報告（２０１６年８月）

１　内政

1. ２日，与党国民党は，国会にて，１２の質問を含む国民投票の実施を発議。国会は，国民党・自由党・リブレ党・ＰＡＣから発議された計４件の国民投票実施案を審議するため，複数政党で構成される特別委員会を設置。同委員会は，「国民投票は国家権力が事前の判断を下していないテーマについて実施される」旨規定されている憲法５条に照らし，大統領再選に関する判断を既に下しているか否か，最高裁に意見を求めることとした。１７日，最高裁は，国会に対し，本件は既に判決済みであり改めて意見を表明する必要はない旨回答を提出。
2. ５日，テグシガルパにて，自由党，リブレ党，ＰＡＣ等野党及び同支持者による大統領再選反対のデモ行進が，６日，サンペドロスーラにて，自由党，ＰＡＣ等約千名以上による同デモ行進が，それぞれ実施された。
3. １５日，エルナンデス大統領は，行政府より提出したものの国会承認を得られていない，農業開発銀行（Banadesa）と生産・住宅ホンジュラス銀行（Banhprovi）の合併，財政制度改革，領事登録プロジェクト，パリ協定等の議案に関し，審議を進めるよう国会に対して促した。
4. １７日付エル・エラルド紙は，刑事に関する司法組織特別法改正の官報掲載により，汚職・恐喝犯罪専任判事の募集を開始できる状態となった。同判事に関しては，全判事の契約を本年１２月に完了，２０１７年１月より機能を開始させる予定。
5. １７日，パチェコ治安大臣率いる国家警察浄化のための特別委員会は，当国国会に対し，第一回目の進捗報告書を提出。
6. ２２日，カルドナ社会開発・包摂大臣及びコントレラス保健副大臣は，大統領府にて，全国に広がる小頭症新生児の増加に政府が警戒しているので，エルナンデス大統領が，同問題に対し社会福祉的対応を実施するための両省合同タスクフォースの結成を決定した旨発表。
7. ２３日付エル・エラルド紙は，エルナンデス大統領が，国会を通過した，重大犯罪容疑者に関しても代替措置を採用するための裁量を判事に対して付与する刑事訴訟法改正に関し，拒否権を行使した旨報道。
8. ２５日，セラヤ・リブレ党党首は，大統領再選の追求を辞退し，同党首と近い関係にある複数の派閥から，シオマラ・カストロ同夫人を大統領候補として擁立する考えを示した。
9. ３０日，国民党は，国会において，大統領再選の規則を制定する目的で，３０００名の署名が記された議案を提出した。

２　外交

1. ５日，エルナンデス大統領は，グアテマラを訪れ，モラレス同大統領と会談し，マラス等のギャング集団対策として，国軍・警察・移民局・インテリジェンス・税関を含む複数機関から成る部隊を北部中米三カ国共同で創設することを提案。２３日，中米北部三カ国首脳は，同地域における国境を越えた組織犯罪撲滅のための地域計画を策定する共同宣言に署名。
2. ８日，エルナンデス大統領は，投資促進を目的とし，墨プエブラ州を訪問。
3. １１日，外務・国際協力省は，同日，タイのフアヒンにて発生し多数の犠牲者を出したテロ（atentado）に対し，非難を表明するコミュニケを発出。
4. １１日，レオニダス・ロサ・バウティスタＯＡＳホンジュラス代表部大使が，国連行財政問題諮問委員会（ＡＣＡＢＱ）委員長に選出。
5. １１日，ジャン・トッド交通安全のための国連特別報告者（現国際自動車連盟会長）がホンジュラスを訪問し，エルナンデス大統領と交通安全ルールをテーマに会合。
6. １５日，チャロカ・ベヤニ国内避難民の人権に関する国連特別報告者がホンジュラスを訪問。
7. １６日，エルナンデス大統領及び同大統領夫人は，メディーナ・ドミニカ共和国大統領就任式に列席するため，同国を訪問。
8. ２２日，外務・国際協力省は，インド北部マディヤプラデシュ州等において大雨に伴う洪水により死者や避難者が出たことに対し弔意及び連帯の意を表明するコミュニケを発出。
9. ２２日，外務・国際協力省は，２０日，トルコ南東部ガジアンテップ市にて，多数の死傷者が発生したことに対し弔意及び連帯の意を表明するコミュニケを発出。
10. ２３日付外務・国際協力省プレスリリースは，メンドーサ在京ホンジュラス大使館臨時代理大使が，相模原橋本ロータリークラブの会合に出席し，ホンジュラス２０／２０プログラムや国家ブランド戦略（マルカ・パイス）プログラムについて講演した旨，並びに，同ロータリークラブが，当国に対する医療機器の供与やＡＭＤＡの諸プロジェクトへの支援を実施している旨掲載。
11. ２４～２６日の日程で，ギル・ケルリコースキー米税関・国境警備局コミッショナーが，中米北部三カ国外遊の最終目的地として，ホンジュラスを訪問。
12. ２６日，外務・国際協力省は，同日，トルコ南東部ジズレ市の警察署にて，多数の死傷者が発生したことに対し弔意及び連帯の意を表明するコミュニケを発出。
13. ３１日，中米北部三カ国外相は，グアテマラ・アンティグア市にて，国内避難民及び移民情勢をテーマに会合。次期国連総会，本年９月末実施予定の中米北部三カ国首脳とバイデン米副大統領との会合，及び，本年１０月実施予定の中米北部三カ国外相とシャノン米国務次官との会合に向け，論旨の共同作成を技術チームに指示。

３　経済

1. ５～８日付エル・エラルド紙は，中銀が，資金洗浄対策として，金融機関との正常取引・非正常取引の境界となる金額の引き下げを，中銀政策委員会の審議にて可決した旨報じる。同審議による主な変更内容は，口座への預金・引き出し・他口座への現金振込の正常取引額の上限を４千ドルへ引き下げ（変更前は１万ドル），並びに，５日以内の累次取引を１回の取引とみなすもの（変更前は１０日）。非正常取引額に関しては，中銀，及び，国家銀行・保険審議会（ＣＮＢＳ）によって調査の対象とされる。
2. ８～１２日，韓国・中米自由貿易協定へ向けた５回目の交渉がソウルにて実施された。
3. １５日エル・エラルド紙は，シェル・ＢＧ・グループが，モスキティア地域における石油開発探査の第２フェーズとして，同地域３カ所にて穿孔調査を開始した旨報じる。石油開発探査は今年で４年目。第１フェーズでは，２次元的地理調査が行われ，全ての結果が石油埋蔵の可能性を示唆していた。穿孔調査は実際に埋蔵されているか否かを知る唯一の手段。同調査結果は、翌年８月までに明らかになる。１つの穿孔に６千万米ドル掛かるため，本年８月から１年間，コンセッション方式で行われる。石油開発探査に対し，ホンジュラス政府は現在までに４．２千万米ドルを拠出。
4. １６日，貿易及び観光分野におけるホンジュラスとの関係緊密化を図るため，ケイマン諸島マクラフリン首相が当国ロアタン島を来訪。シルベストリ・ホンジュラス環境庁（ＩＨＴ）局長，カスティージョ経済開発大臣等と会談。
5. １９日，国家電力公社（ＥＮＥＥ）に替わり，民間委託業者であるホンジュラス・エネルギー会社（ＥＥＨ）による配電事業が開始された。
6. ２０日付ラ・プレンサ紙は，当国のイノベーション指数が，昨年より１２位上昇，現在は１０１位で，中米諸国内ではコスタリカ，パナマ，グアテマラに次いで４番目である旨報じた。
7. ２２日，歳入管理庁（ＳＡＲ）創設に向け，同庁職員の採用を担う業者として選ばれたプライスウォーターハウスクーパーズ（ＰｗＣ）社と，大統領府税務委員会（ＣＰＡＴ）が契約書に署名。同日，求人が開始された。
8. ２４日，国会は全会一致，第一審議のみにて，農業生産への投入物（肥料・農薬・農機具等）の購入にかかる１５％の売上税（ＩＳＶ）を廃止する法案を可決。同法案は６項目から成り，９月中に官報に掲載される予定。売上税の免除により，農業活性化に伴う雇用拡大，及び，外貨収入の増加が期待される。
9. ２５日，エルナンデス大統領は，世界的企業であるナイキが，サンペドロスーラにロジスティック・センターを創設する旨発表。同センターの創設により，２万５千人の雇用創出が見込まれる。
10. ２６日，財務省とＢＣＩＥ（中米経済統合銀行）は，カナル・セコ計画改善のため，総額５７．４百万米ドルの融資契約書に署名。内，３７．２百万ドルは現在工事が行われているコマヤグア県ビジャ・デ・サン・アントニオ市とバジェ県ゴアスコラン市を結ぶ幹線道路の建設に，２０．２百万米ドルは，ＣＡ５の拡張・修繕に充てられる。
11. ３１日付ラ・プレンサ紙は，平価切下げによる対米ドル・レンピーラ安は，当初設定目標である年内５％への到達は難しく，昨年とほぼ同様の４．２％に留まるとの中銀の見方を報じた。

＜主要経済指標＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ◇主要経済指標◇ | **2016年** | **2015年** | **2014年** |
| **8月** | **7月** | **6月** | **5月** |
| **インフレ率 （前年同月比）** | 2.51% | 2.40% | 2.45% | 2.36% | 2.36% | 5.80% |
| **貿易収支（百万ドル）** | ― | ― | 未発表 | ― | △3,056.3 | △2,997.5 |
| **輸出（百万ドル）** | ― | ― | 未発表 | ― | 8,040.7 | 8,072.2 |
| **輸入（百万ドル）** | ― | ― | 未発表 | ― | 11,097.0 | 11,069.7 |
| **外貨準備高 （百万ドル）** | 3,776.7 | 3,845.3 | 3,955.6 | 3,892.6 | 3,822.3 | 3,516.5 |
| **外国からの送金 （百万ドル）** | ― | ― | 未発表 | ― | 3,649.8 | 3,353.2 |
| **為替レート （対ドル月平均）** | 23.05 | 23.00 | 22.90 | 22.77 | 22.10 | 21.13 |

＜出典：ホンジュラス中央銀行＞ ※貿易収支，輸出，輸入，外国からの送金は，四半期毎に発表